

研究所だより

教育三笠

第223号 発行／三笠市教育研究所

- 三笠小学校・三笠中学校 小中一貫教育の概要
- 「防災のしおり」 ■ 小学校社会科副読本改訂作業

三笠小学校

～体育参観日～



低学年 玉入れ



中学年 5色綱引き



高学年 ダルマ運び

三笠小中一貫教育の概要

【研究主題】

『学力の向上と豊かな心を育てる』

『学びのつながり』 『地域をつながり』

『職員をつながり』を生かして

『小中一貫でめざす児童生徒像』

◆基礎・基本をしっかり身につけ、主体的に学習する児童生徒

◆礼儀正しく、他者を思いやる優しい心を持つ児童生徒

◆三笠を愛し、社会で幅広く活躍できる児童生徒

【本年度の研究について】

2018年度からの3カ年計画においては、今日までに培ってきた小中一貫教育の成果と課題を踏まえ、現在の児童・生徒の実態を鑑みて、小学校・中学校の教職員が全員で取り組むべき課題を協議し、課題の認識と改善に向けた共通の視野を持つ必要がある。特に、学力の向上や豊かな心を育む効果的な授業の展開や、生活指導の充実をより積極的に追究していく必要がある。

学力の向上のためには授業力を向上させる必要があるため、小学校・中学校の教職員全てが計画的に授業を公開し、より多くの児童・生徒の学習状況を把握する事が必須である。

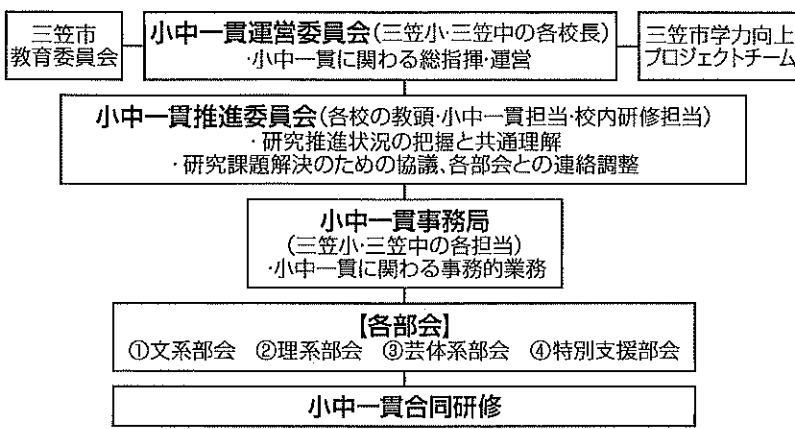
また、いろいろな教科を網羅するため、今年度の部会設定は、国語・算数・数学とせず、①文系部会②理系部会③芸術系部会④特別支援部会とした。

ノート指導や辞典の活用、授業展開の工夫、学習支援体制はどうあるべきかを考えるな

ど、複合的で幅広い視点のもと、授業のあり方を検討していきたい。さらに、『中一ギャップ』対策として、今後小中で統一して指導していきけるものについても検討していく。

生活指導の充実においては、児童・生徒がより良い学校生活を送ることができるよう、教職員が全員で課題について協議し、授業への姿勢なども含めた現状について、多岐に渡った交流と分析を行う必要がある。豊かな心を育むためにも学校生活全般に関わる内容を協議する部会も設定し、生活面から見取れる多くの課題をより鮮明にして、共通認識のもと課題解決に向けた取り組みが行える体制を整えていきたい。

【小中一貫組織図】



各部会のテーマとテーマにもとづく今年度の重点課題

①文系部会

▽部会テーマ
自ら学び思いや考えを伝えあうことのできる児童

▽授業改善
主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善

▽テーマにもとづく、今年度の重点課題
・自分の考えをもち、それを表現する。

②理系部会

▽部会テーマ
児童・生徒が主体的に取り組むための授業展開の工夫。

▽テーマにもとづく、今年度の重点課題
・児童・生徒が主体的に取り組めるよう、三笠市授業スタイルをベースに授業を構築する。

③芸術系部会

▽部会テーマ
自分の気持ちや考えを相手に伝え、友達と聞き合ったり練り合ったりする中で、お互いに力を伸ばし合う授業づくり。

▽テーマにもとづく、今年度の重点課題
・違いを認め合い、考えを深め広げる練習の場の工夫。

④特別支援部会

▽部会テーマ
学習活動を通じたコミュニケーション能力の育成の工夫

▽テーマにもとづく、今年度の重点課題
・自分から表現すること、表現したものを受け取ることを意識した授業づくり。

今年度の取り組み

今年度は、コロナウイルス感染症の流行により、1学期は推進日程通りに行われていない部分も多くあったが、できる範囲で研究を進められるよう、各部で話し合いを進めている。

2学期以降の推進日程は左表の通り。

日程	内容	会場	内容
9月28日(月)	合同部会	小	研究課題解決のための方策の話し合い・授業公開・授業反省など
11月2日(月)	合同部会	小	研究課題解決のための方策の話し合い・授業公開・授業反省児童・生徒の実態交流、年度末までの実践内容の確認など
7月～冬休み前まで	授業公開	小中	1人1授業を公開する
11月26日(木)	※振興会研究大会	萱野中	振興会公開研究大会(萱野中)
12月14日(月)	合同部会		授業反省と今年度の反省と次年度に向けて
1月29日(金)	推進委員会②	小	本年度の反省と、次年度に向けた協議
2月15日(月)	合同研修②	小	本年度の評価と次年度に向けた提案

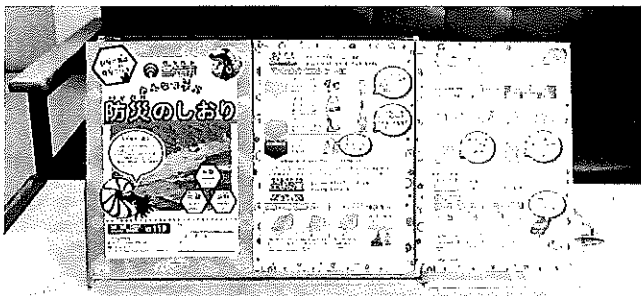
実際の地形をイメージしやすい鳥瞰図入り 「防災のしおり」

令和2年度の三笠市政策事業として、三笠市教育研究所が受託作成した「防災のしおり」を各校に配布しました。

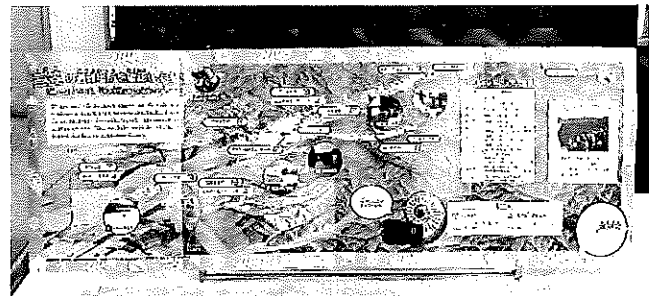
本冊子の作成にあたっては、三笠市消防本部生活安全センターの助言を受けながら、洪水や土砂災害、地震、雪害等の自然災害について、小中学生用にもわかりやすい解説でまとめ、理解を深められるようにしました。

また、株式会社ジオ・ラボ三笠営業所の先進的な技術により、三笠市のデータに基づいた地形図を立体的な鳥瞰図として実現させることができました。それによって、災害が起こりやすい場所や自分が住む地域の避難所について、視覚的にもよりイメージしやすい資料となったと考えております。

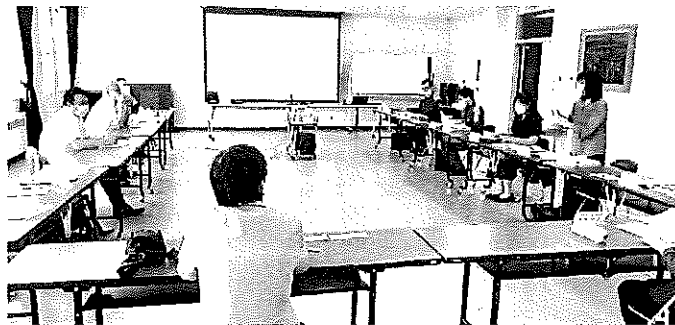
市内小中学校の児童生徒(小学校は3年生以上児童・中学校は全生徒)に配布しました。各学校では、各教科等の授業を中心に、様々な活動場面で、「防災教育」に役立てていただけたらと思います。



「防災のしおり」①

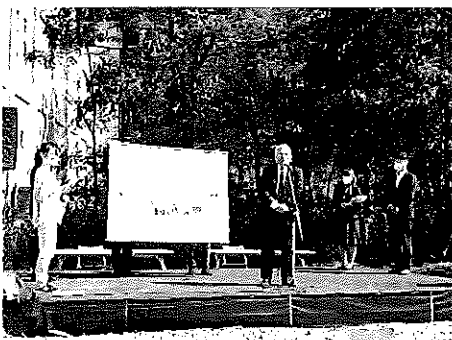


「防災のしおり」②



「防災のしおり」作成会議

鳥瞰図(立体地形図)がタペストリーに



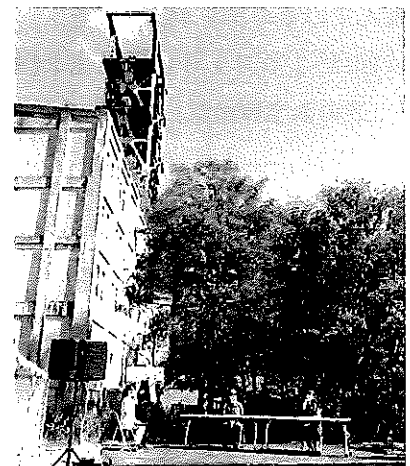
旧奔別炭鉱立坑跡にて

「防災のしおり」用に作成された鳥瞰図が、タペストリーとなって飾られます。

株式会社ジオ・ラボ三笠営業所様の御厚意により、三笠市の実際の地形データに基づいた立体的な鳥瞰図がタペストリー化され、三笠市教育委員会へ寄贈して下さることとなりました。

今後は、教育委員会に保管されますので、ぜひご活用ください。

9月19日(土)～21日(月)に行われた『幾春別・奔別祭り』にて、タペストリーが披露されました。また、21日(月)のトークセッションでは、『地域の防災について』というテーマのもと、この度完成した「防災のしおり」を用いた防災教育の推進について紹介されました。

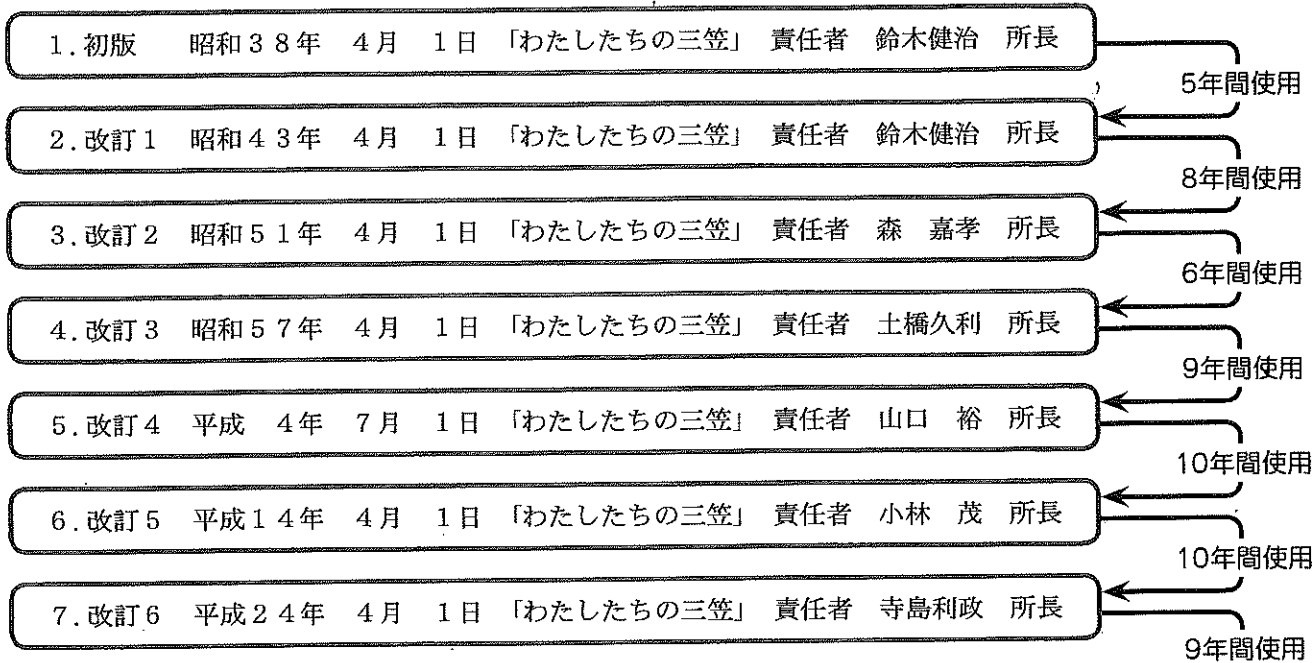


トークセッション「地域の防災について」
三笠市消防本部
生活安全センター長 太田幸司氏
三笠市教育研究所 松井牧子所長

小学校社会科副読本「わたしたちの三笠」改訂について

現在、三笠市教育研究所では、現行の小学校社会科副読本(平成24年発行)の改訂作業を進めております。改訂作業にあたり、「わたしたちの三笠」の過去の発刊について調べ、まとめました。

【過去の発刊】



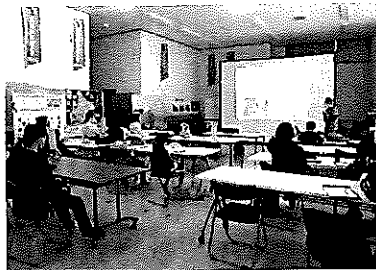
今後の研究作業については、以下の通り予定しております。

8. 改訂7 令和3年4月1日 「わたしたちの三笠」 配布

第2回土曜学習「植物観察講座～きみがまだ知らない植物の世界」 9月12日(土) 野外博物館

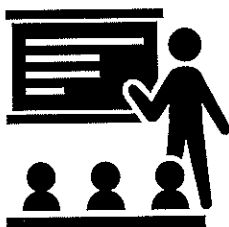
8名の児童と保護者の皆様が参加し、野外博物館でたくさんの植物を観察しました。観察後は、観察した植物がどのようにタネを運んでいるのかを学びました。

次回は、10月10日(土)第3回土曜学習「三笠のお宝探検隊」(野外博物館)です。



編集後記

早いもので9月も終わりを迎え、秋を感じる風が吹く季節となりました。今号の「教育三笠」では、今年度の「三笠小中一貫教育」の概要、「防災のしおり」、小学校副読本の改訂作業等について掲載しました。三笠市の教育の現状を知る一助となり、今後の実践に役立てていただけることを願っております。次号は、「岡山萱野小中一貫教育」の取組を中心にお伝えする予定です。引き続き、教育研究所へのご協力をよろしくお願いいたします。



三笠市教育研究所報

発行日 令和2年9月30日
 発行所 三笠市教育研究所
 代表 松井 牧子
 三笠市若草町404
 電話 212197番
 印刷所 中央印刷株式会社